



〒663-8558 西宮市池開町6-46

武庫川女子大学言語文化研究所

TEL 0798(45)3536

FAX 0798(45)3574

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC>

2001年 オンナのファッション 春を彩るキーワード

ファッションはその時代を反映していると言われます。特に女性のファッションは、その年々による流行があり、情報はいち早く雑誌に掲載されます。ファッション雑誌は、いわば時代を象徴する情報を発信していると言えるものです。

今回のリポートは、そんな女性雑誌のファッション記事に使われていることばを取り上げます。材料は、大人の女性向け雑誌『ミセス』と、若い女性向け雑誌『JJ』です。さて、21世紀最初の春、ファッション雑誌には、どのようなことばがどのように使われていたのでしょうか。ことばの面から、ファッションの流行に迫ってみます。また、2つの雑誌に現れる語彙を比較して、共通することば・相違することばも探っていきます。

◆調査の方法

『ミセス』と『JJ』各4月号から、洋服を扱っている記事をデータとして集めた。データは、洋服を説明しているセンテンスに限定し、靴やバッグ、アクセサリ等に関する商品説明は除いた。見出し、小見出しについては、目次と重複するもの以外を取る。ただし、商品名のみや、単語のみはデータとして認定しない。また、価格のみもデータとしない。モデルの話は、洋服に関する場合はデータとして入力する。このようにして集めたデータを、テキストデータとして入力し、プログラム処理によって使われている語彙を調べた。自立語だけを対象とし、助詞、助動詞は含めない。語の単位は国立国語研究所による長単位である。

各雑誌に含まれるデータは、次の通りであった。

	ミセス	JJ
センテンス	317文	712文
延べ	2,648語	4,477語
異なり	1,330語	1,544語

◆評価語

洋服を評価したり形容したりする場合には、どのような語彙が使われているのだろうか。多く用いられた語彙は、洋服のアピールポイント、すなわち流行の傾向を示すキーワードであると言える。そこで、JJについては頻度10以上、ミセスは頻度5以上カウントされた評価語を挙げてみる。それが、表1である。

表1：洋服を評価・形容している語彙

J J			ミ セ ス		
順位	語 彙	頻度	順位	語 彙	頻度
1	人気・人気上昇中	53	1	エレガンス・エレガント	12
2	可愛い・可愛らしさ	52	1	軽やか・軽快	12
3	大好き・好き	37	3	シンプル	11
4	シンプル	36	4	上質	10
5	きれい	35	4	魅了する・魅力	10
6	女の子らしい	28	6	カジュアル	9
7	ゴージャス	27	6	女らしい・女性らしい	9
8	お気に入り	25	8	美しい	8
9	◎・○	23	9	楽しめる	7
10	華やか	21	10	さり気ない	6
11	大人っぽい・大人らしい	20	10	贅沢・贅沢感	6
12	セクシー	18	12	シャープ	5
13	清潔感・清纯・清楚	12	12	華やか・華やぐ	5
13	カジュアル	12	12	心地よい	5
13	爽やか	12	12	新鮮	5
16	女らしい	11			

JJは、人気・人気上昇中、可愛い・可愛らしさ、大好き・好き、シンプル、きれいなどが多く使われている。ミセスは、エレガンス・エレガント、軽やか・軽快、シンプル、上質、魅了する・魅力などが上位に入っている。

双方に共通しているのは、シンプル (JJ 4 位、ミセス 3 位)、カジュアル (JJ 14 位、ミセス 6 位)、女らしい (JJ 16 位、ミセス 7 位) である。JJには、女らしいに近いことばで、女の子らしい (6 位) があり、JJとミセスによって、対象とする読者の年齢層の違いがうかがえる。

JJで特徴的なのは、◎・○ (9 位) のように、記号が使われていることである。例えば、「白のパンツはモノトーンにカッコよく見せるのが○。」「上品で親ウケも◎なのでピンクが好き。」のように使われている。これらは、「マル」、「ニジュウマル」と読ませると同時に、視覚に訴えて一目で分かるようにされているものである。他には、「原色イエローだと下品になりすぎるから×。」の「×」(バツ) や、「水色×チェック柄のコーディネートは清楚と彼にも好評」の「」(ハートマーク) などがある。「」は、文章の一部として読ませるというよりは、その文章の雰囲気を表しているいわば装飾であり、「好評」を強調しているものである。これらのように、JJでは、記号も組み合わせながら、洋服を評価・形容している。

ミセスでは、「エレガンス・エレガント」「贅沢・贅沢感」など、上品で優雅、高級感を表す評価語が目立っている。

また、「シンプル」「カジュアル」⇔「ゴージャス」、「可愛い・可愛らしさ」⇔「セクシー」、「女の子らしい」⇔「大人っぽい・大人らしい」(以上JJ)、「エレガンス・エレガント」⇔「カジュアル」、「シンプル」「シャープ」⇔「贅沢・贅沢感」(以上ミセス) など、対義的な語が同時に登場するのは、双方に共通している点である。

◆色彩語

次に、洋服の要素として比較的大きな比重を占める色についてはどうだろう。表2に、JJは頻度5以上、ミセスは使用された色彩に関するすべての語彙を挙げる。

表2：洋服の色として使われている語彙

J			頻度	ミ セ ス			頻度
順位	語	彙		順位	語	彙	
1	白		62	1	白		8
2	ピンク		44	2	黒		5
3	キレイ色		30	3	赤		4
4	黒		29	4	ゴールド		3
5	パステル		18	5	オレンジ		2
6	赤		13	6	ベーシックカラー		2
7	モノトーン		13	頻度1 アクセントカラー、カーキ、キャメル、 シーズンカラー、スモーキー、パステル、 ビビッドカラー、ピンク、ベージュ、 ライムグリーン、甘い色、紺、青、 浅黄色、多色づかい、優しい色			
8	ラメ		9				
9	ゴールド		9				
10	水色		9				
11	グリーン		7				
12	ベージュ		7				
13	差し色		7				
14	アップルグリーン		6				

色彩語の頻度は、JJが延べ326語、ミセスが延べ40語と、JJが約8倍の多さである。それだけJJでは、色を説明することの重要度が高く、また表現方法がバラエティーに富んでいると言える。

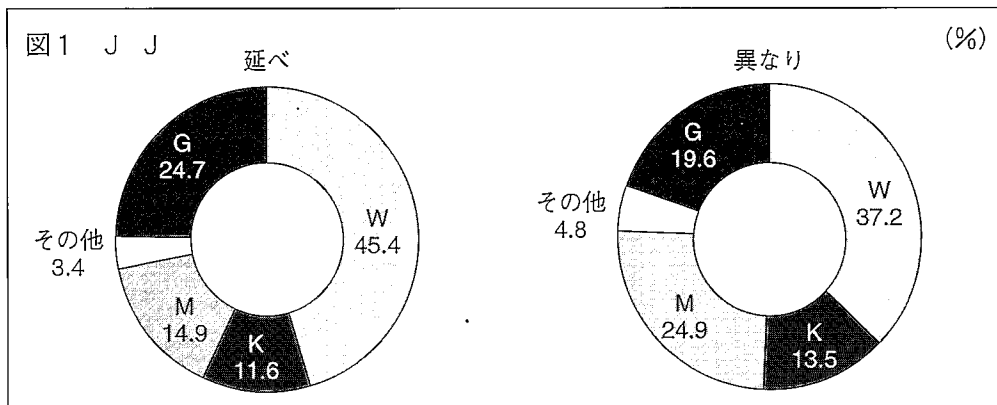
JJでは、白が一番多く、次いでピンク、キレイ色、黒と続いている。3位のキレイ色という表現は、次のように用いられている。「カジュアルになりがちなシャツもキレイ色を選べば華やかさはキープできます。」「オードリーを意識したサブリナパンツはキレイ色ニットで上品に。」「いつもより女のこらしく見せたい初デートの時は、男のこうけもいいキレイ色ワンピースをチョイス。」「ワンピースの中でもキレイ色が一番の人気」「春のマストアイテムの白シャツにはキレイ色スカートを合わせる」などである。これらから分かるのは、キレイ色とは、①華やかで②上品、そして③女の子らしくて④男のコ受けが良く⑤一番人気で⑥白ではない色だということである。おそらく黒やベージュなどでもないと推察される。

双方に共通している頻度の高い色は、白、黒、赤、ゴールド。白は、JJと同じくミセスも一番多く使われている。2001年春のテーマカラーは白ということになる。

このように、共通する流行色は、ゴールドを除き和語であるが、色彩語全体の語種を調べてみると、延べで、外来語（JJ：44.8%、ミセス：43.9%）。和語（JJ：42.0%。ミセス：51.2%）という割合であった。どちらも和語と外来語がほぼ半数ずつである。次ページに挙げる全体の語種別使用率と比較しても、色彩語における外来語の割合が非常に高いことが分かる。つまり色彩の表現には、外来語の方が適している場合が多いのであろう。

◆語種別使用率

次の図1、2は、各雑誌の語種別使用率である。語種は、和語 (W)、漢語 (K)、外来語 (G)、混種語 (M)、その他の5分類とし、ブランド名は、外国語であってもその他に分類することとした。



ファッションという性質上、外来語が多く、漢語が少ないだろうという予想通りの結果が表れた。漢語は、延べ・異なりとも2割以下の比率である。特にJJの延べでは、約1割という低い結果になった。

混種語が比較的多いのは、データの区切り方を長単位としたからである。JJの異なりでは、約4分の1を混種語が占めているが、その内、61%が外来語プラス他の語種の結びつきである。これからも、外来語が多く用いられていることが証明される。

《あとがき》 ことばから、ファッションを分析してみました。2001年春、ファッションのキーワードは、シンプル・カジュアル・女らしさ。そして白い服を着ていれば流行の最先端でした…?

〔担当〕 佐竹秀雄・岸本千秋 〔作業協力者〕 安藤彩子 2002. Jan